

リオン株式会社

2017年3月期第2四半期 決算ダイジェスト

東証一部 証券コード：6823

【免責事項】本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

第1四半期は減収も、第2四半期累計で増収に

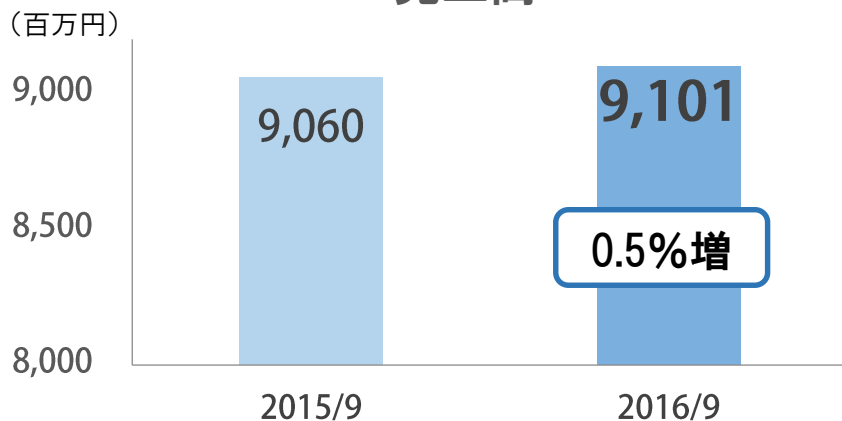
- ・ 補聴器の販売が回復基調。
- ・ 医用検査機器、微粒子計測器の販売が好調をキープ。

期初予想に変更なし

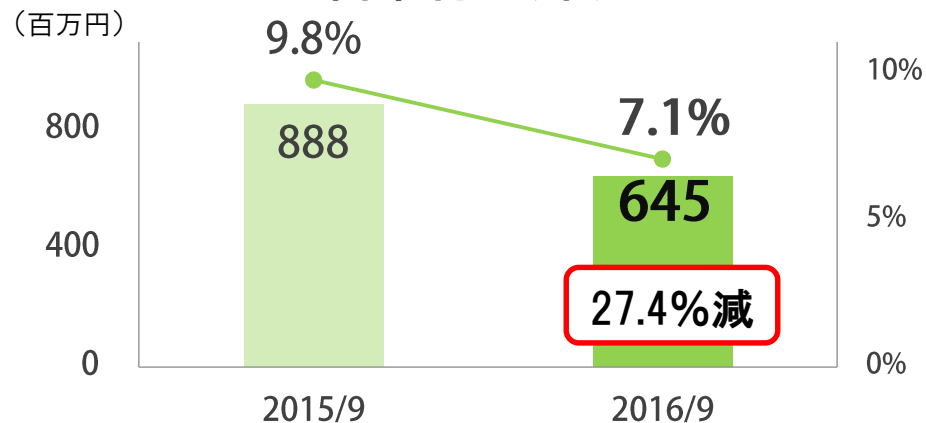
- ・ 補聴器と音響・振動計測器の販売が年度末に向けて増加し、第1四半期の落ち込みをカバーする見込み。

決算ハイライト (連結)

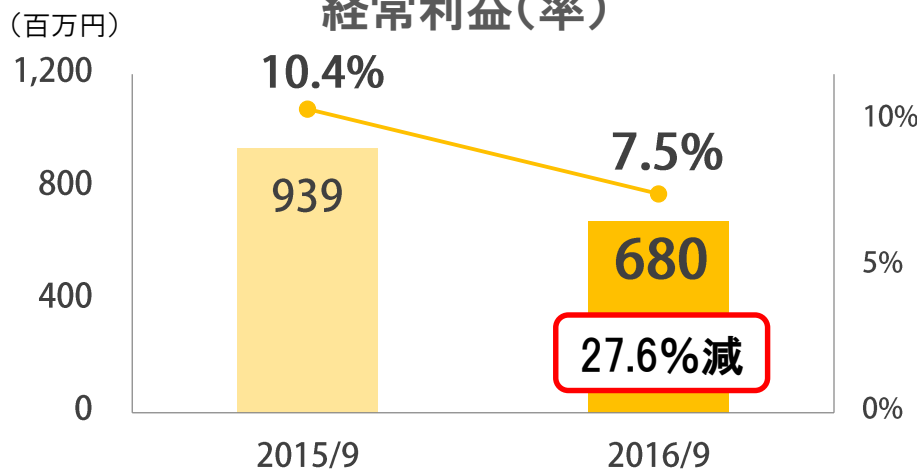
売上高



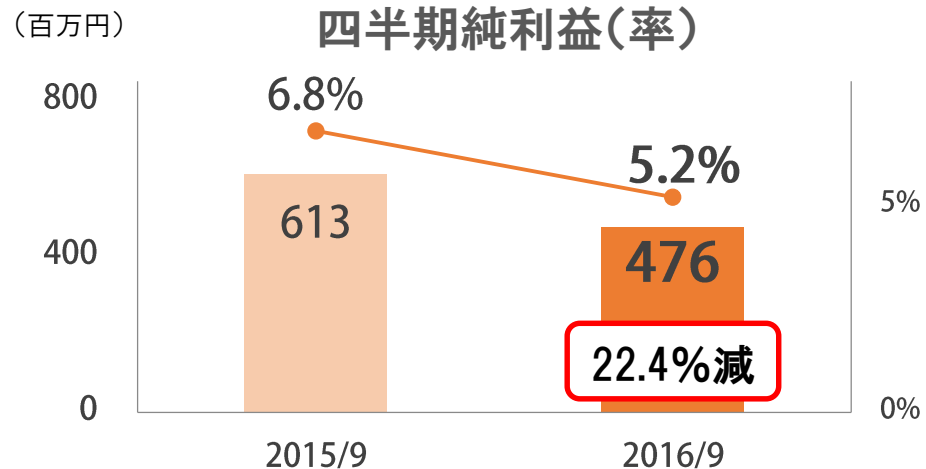
営業利益(率)



経常利益(率)

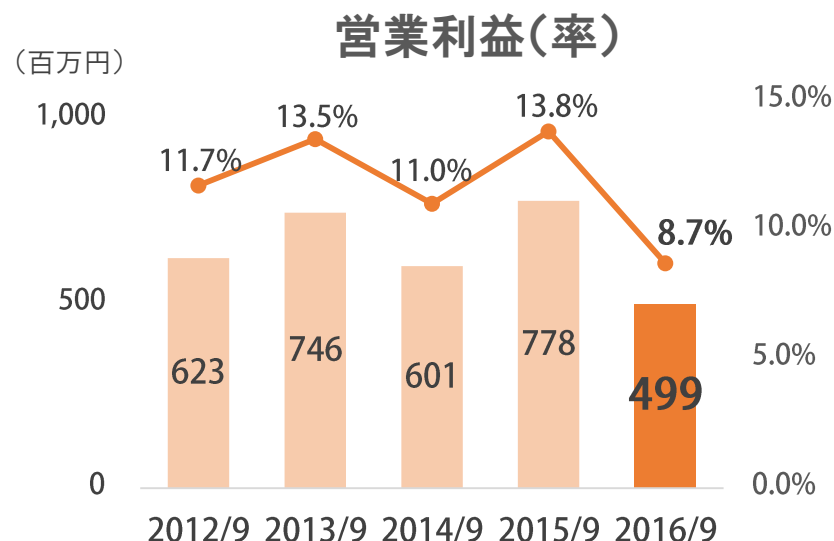
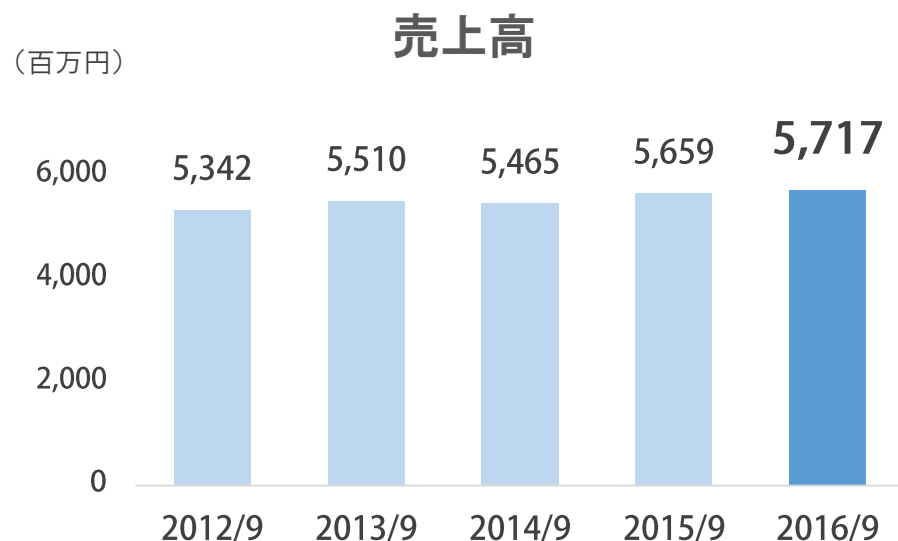


親会社株主に帰属する 四半期純利益(率)



上期業績の推移（医療機器事業）

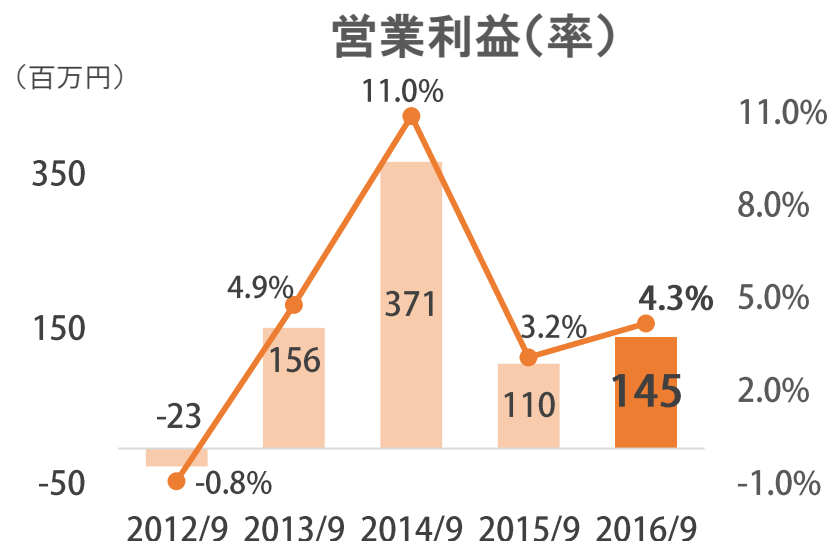
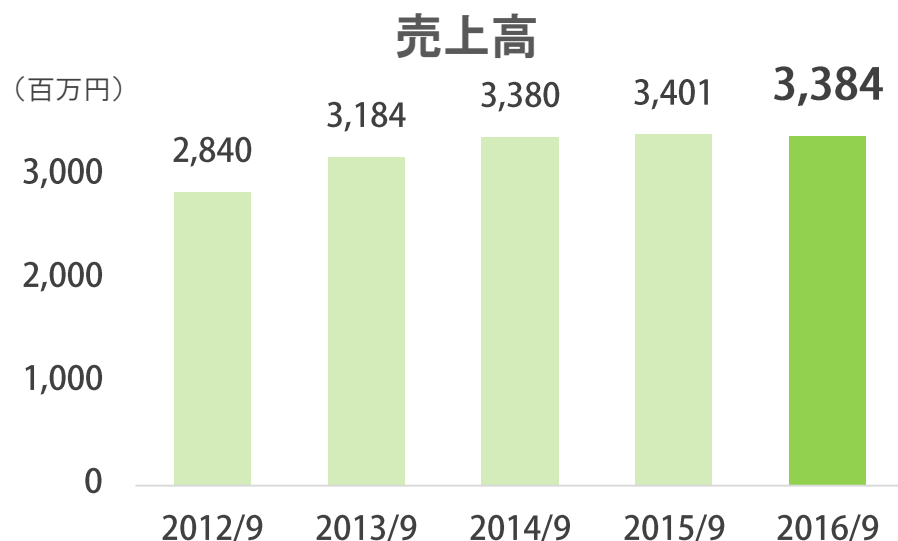
前年同期比で増収も、販売費の増加により減益に



- ・ 補聴器は第1四半期は売上が伸び悩んだものの、7月の新製品の投入により回復基調。補聴器の販促活動の積極展開により減益に。
- ・ 医用検査機器は診断用オージオメータやインピーダンスオージオメータなどの高額製品の販売が好調を継続。

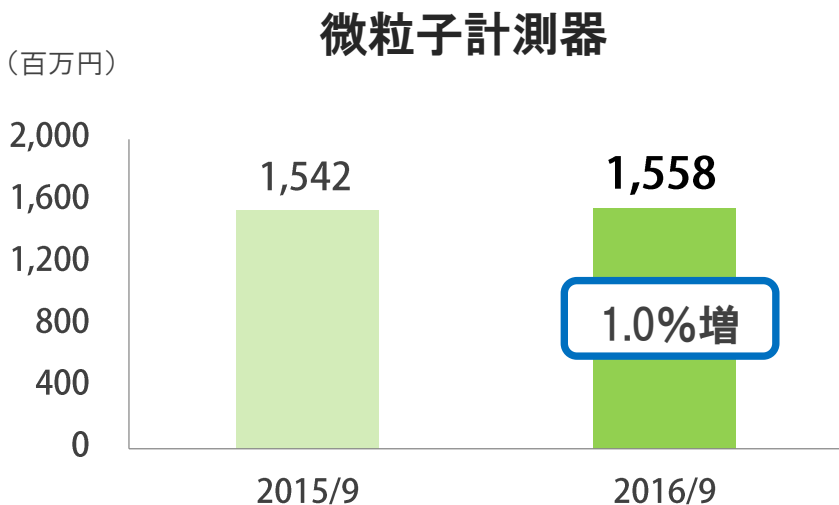
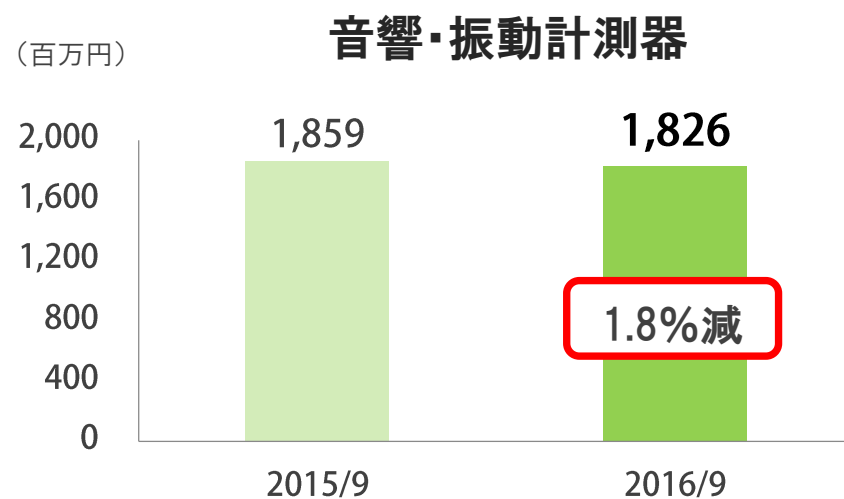
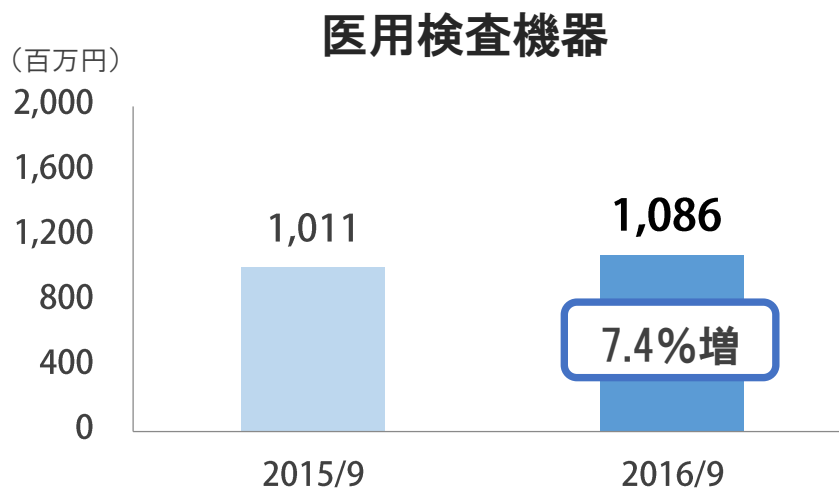
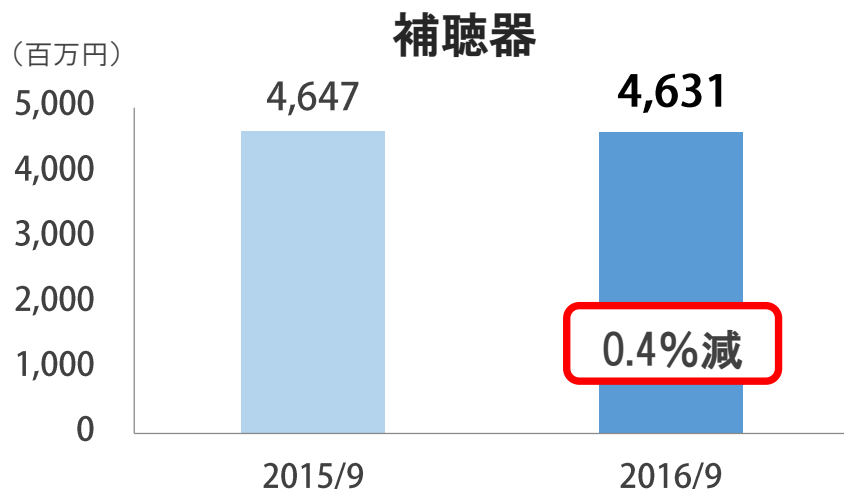
上期業績の推移（環境機器事業）

売上高は前年同期並み
微粒子計の売上原価率の低下により増益



- ・ 音響・振動計測器は、建設工事増加に伴い騒音計や振動計が堅調に推移するも、地震計が前年同期に及ばず減収。
- ・ 電子デバイス関連市場向け液中微粒子計の販売が好調を持続。好調であった昨年をさらに上回る。

各製品群の売上高の推移



8月1日 [技術情報誌「Shake Hands」 Vol.2発刊](#)

8月10日 [リジナルアプリを搭載したタブレットPCによる体験型補聴器工場見学ツアーを開催](#)

8月18日 [執行役員の異動に関するお知らせ（訃報）](#)

9月2日 [業界初！学研と学習教材「耳と補聴器のひみつ」を発刊](#)

9月13日 [MEMSレトレットマイクロンを応用した64チャンネル球状マイクロンアレイシステムの開発に成功（東北大学と共同開発）](#)

9月15日 [業績予想の修正に関するお知らせ](#)

9月29日 [株主様向け会社見学会実施](#)

※ 下線はURLリンクが付いています。